

令和7年度 学校評価アンケート結果

○調査対象

生徒	534人
教職員	44人
保護者回答数	184人

○調査時期 令和7年12月

○調査方法 Googleフォームを用いたオンライン・アンケート調査

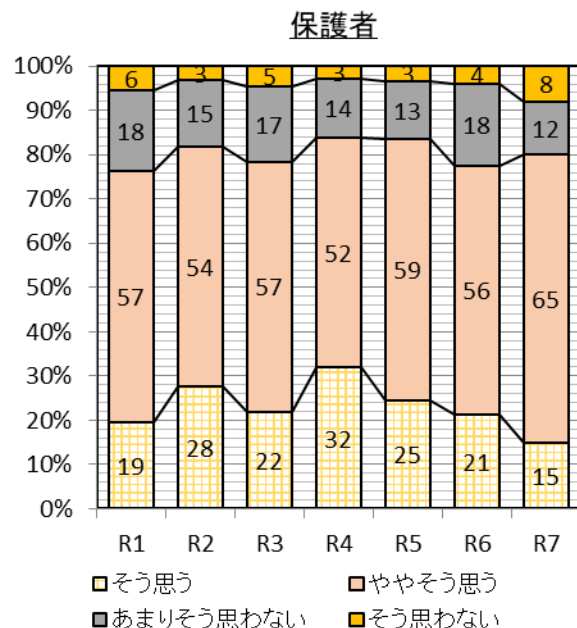
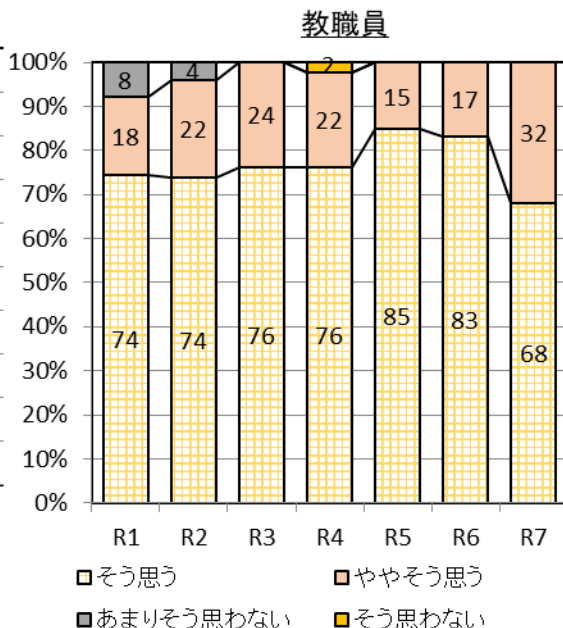
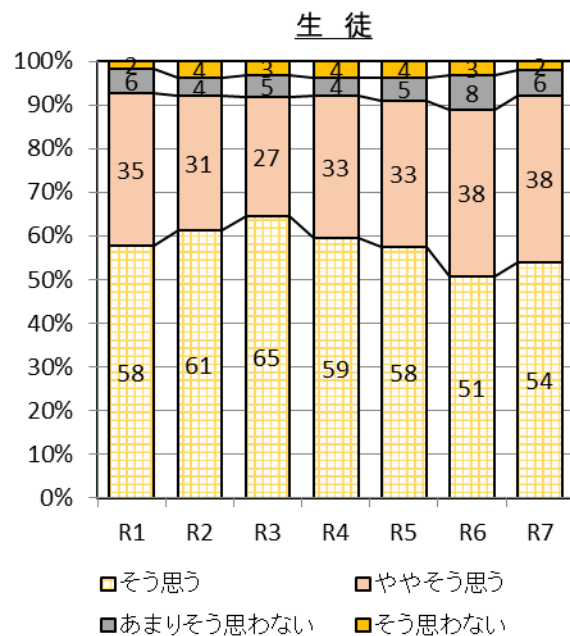
○質問項目

- ①いじめ・暴力について ②授業について ③挨拶について
- ④美化について ⑤規則について ⑥行事について
- ⑦悩み相談について ⑧宿題について ⑨地域について（生徒、保護者）



1 いじめ・暴力について

- ・【生徒】あなたは、いじめや暴力を許さない態度で生活をしていますか。
- ・【保護者】学校は、いじめや暴力のない楽しい学校づくりに努めている。
- ・【教職員】あなたは、いじめや暴力のない楽しい学級・学校づくりに努めていますか。

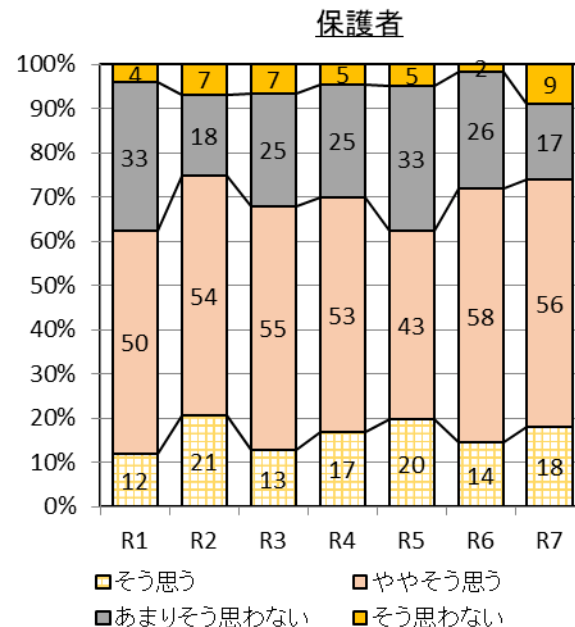
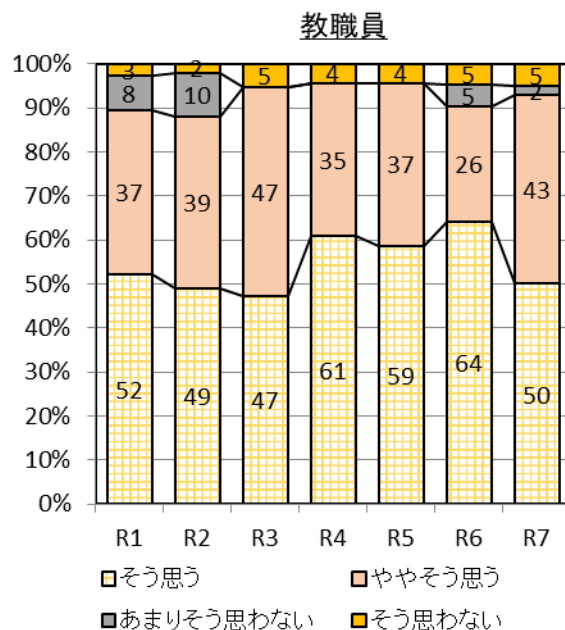
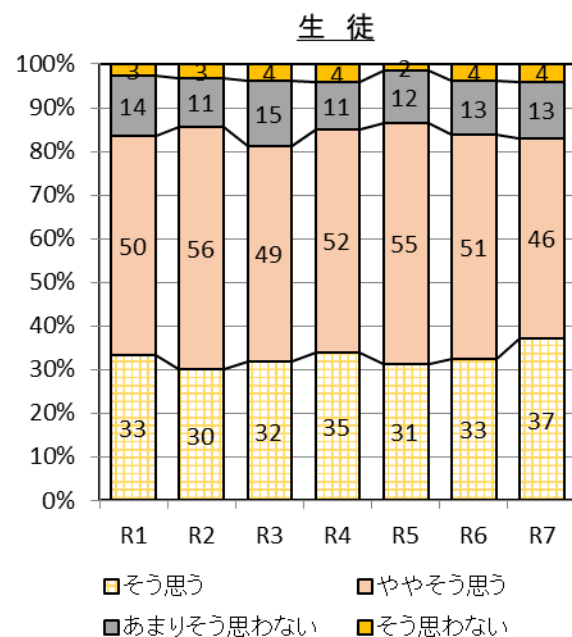


コメント

今年度もSNSのトラブルが多く見られた。SNSに起因するトラブルの増加は、現代社会における深刻な課題です。情報モラル教育の徹底はもとより、対面での温かな人間関係を構築し、生徒同士が互いの痛みに関心し、支え合える「心の絆」を育む教育活動を一層強化してまいります。

2 授業について

- ・【生徒】あなたは、学校の授業を真剣に受け、理解できていますか。
- ・【保護者】教職員は、子どもの興味・関心や意欲を引き出すために授業の工夫をしている。
- ・【教職員】あなたは、体験学習や教材開発など、分かりやすい授業に努めていますか。

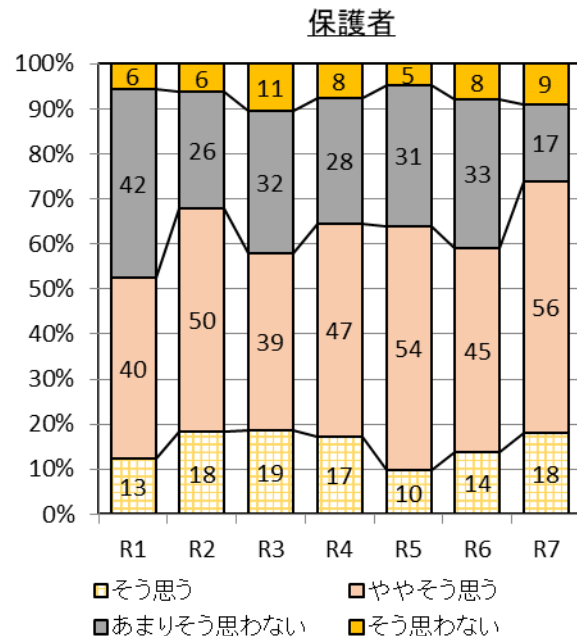
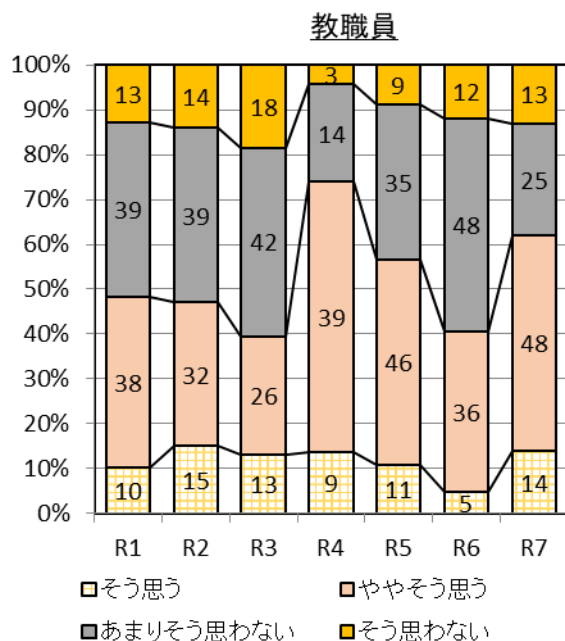
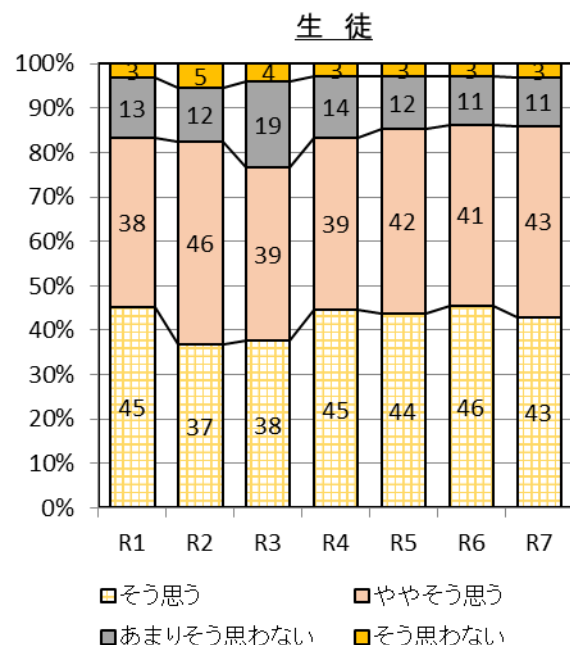


コメント

多くの生徒が授業に対して前向きに取り組んでいる。今後は、生徒自らが課題を見つけ、対話を通して解決していく「主体的・対話的で深い学び」へと授業をアップデートします。全ての生徒の「わかった!」「楽しい!」という知的好奇心を満たす授業改善に挑戦し続けます。

3 挨拶について

- ・【生徒】あなたは、家族や先生、友達だけでなく、学校への来校者や地域の方へも、しっかりと挨拶ができていますか。
- ・【保護者】子どもは、誰に対しても挨拶がよくできている。
- ・【教職員】生徒は、来訪者や教職員、友達等への挨拶をよくしていると思いますか。



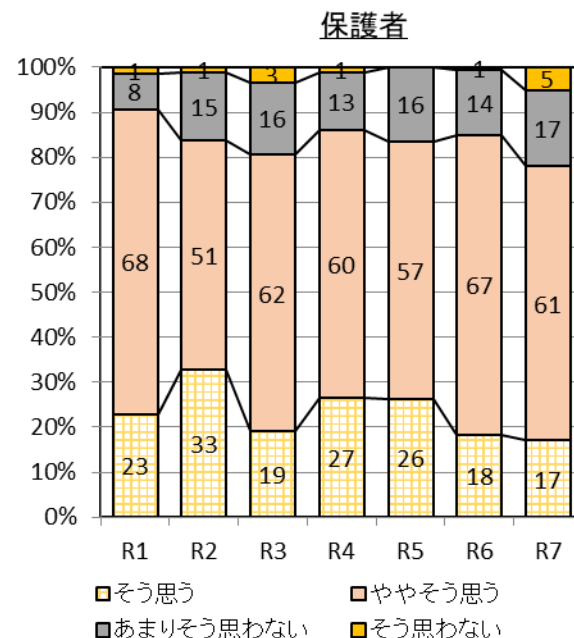
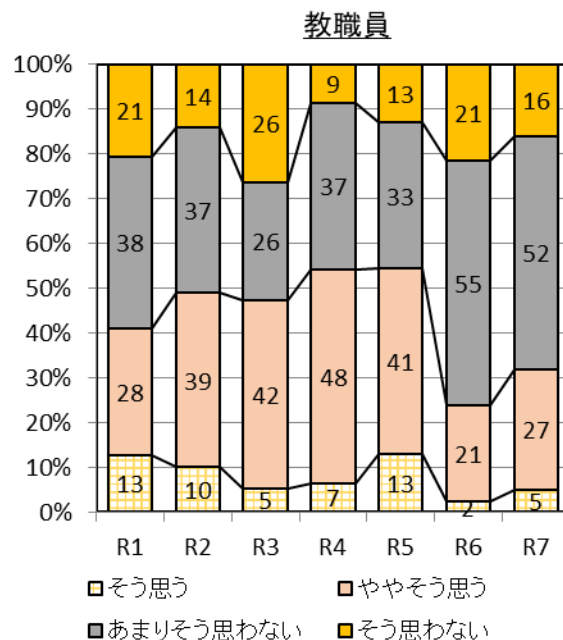
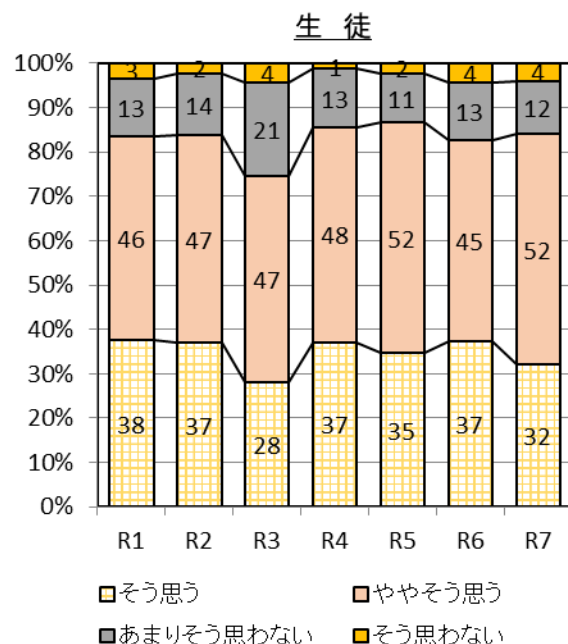
コメント

挨拶は、人と社会をつなぐ魔法の言葉です。

生徒会を中心とした生徒自らの働きかけにより、校内に明るい活気が生まれていることを誇らしく思います。学校の枠を超え、地域の方々や来校者に対しても自然に笑顔で挨拶ができる「礼節ある新庄中生」の育成を、地域・家庭と連携して目指します。

4 美化について

- ・【生徒】あなたは、校舎内の美化（清掃活動等）を熱心に取り組んでいますか。
- ・【保護者】学校は、校舎内の美化に積極的に取り組んでいる。
- ・【教職員】生徒は、校舎内の環境美化に積極的に取り組んでいます。

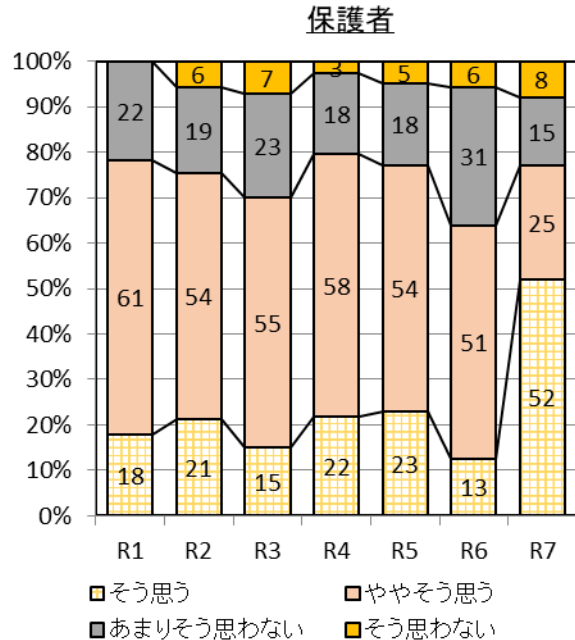
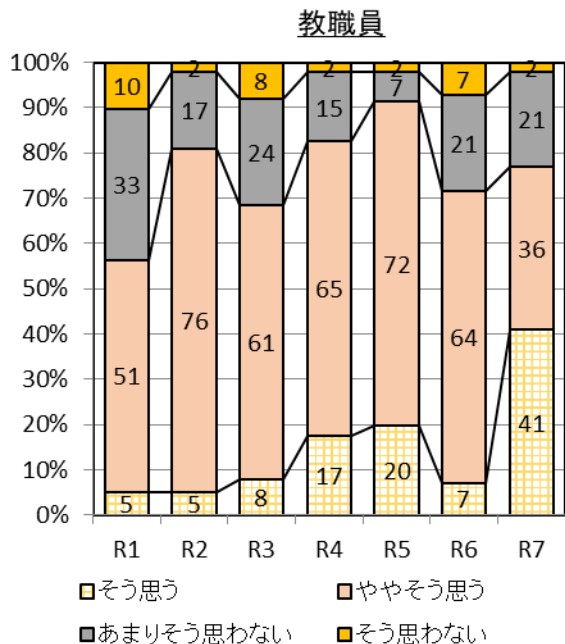
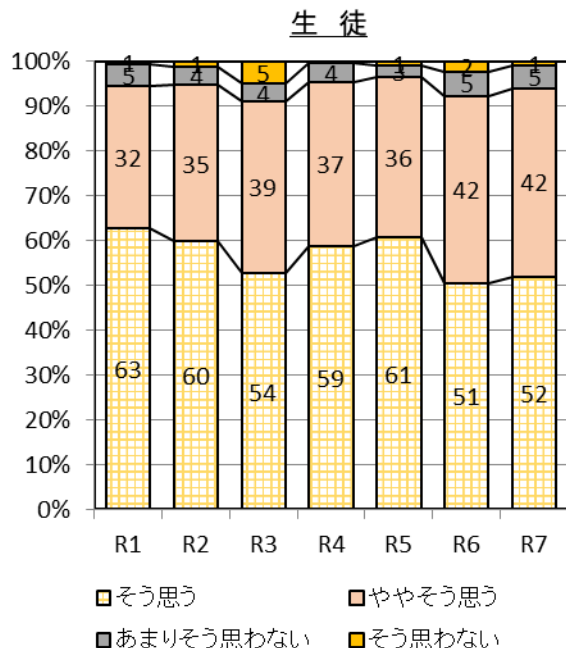


コメント

自分たちの学び舎を大切にする心は、自己有用感や集団への所属意識を高めます。単なる作業としての清掃ではなく、環境を整えることが自らの学びや生活の質を高めるという意識を醸成し、清潔で潤いのある教育環境づくりを全校体制で推進してまいります。

5 規則について

- ・【生徒】あなたは、学校の規則や約束をしっかりと守っていますか。
- ・【保護者】きまりや約束が守られていて、秩序ある学校である。
- ・【教職員】生徒は、学校のきまりや約束を守って生活していると思いますか。

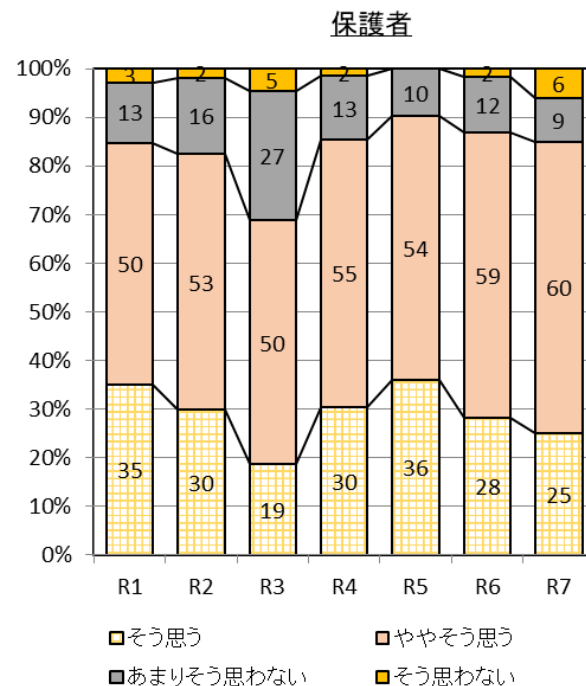
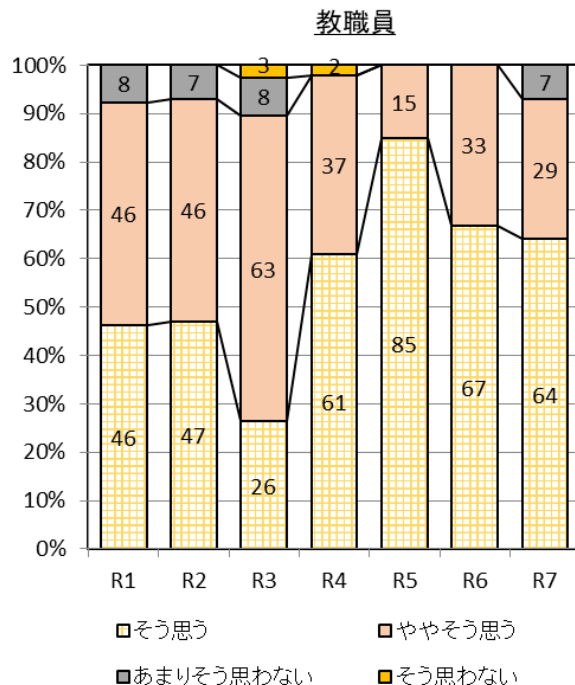
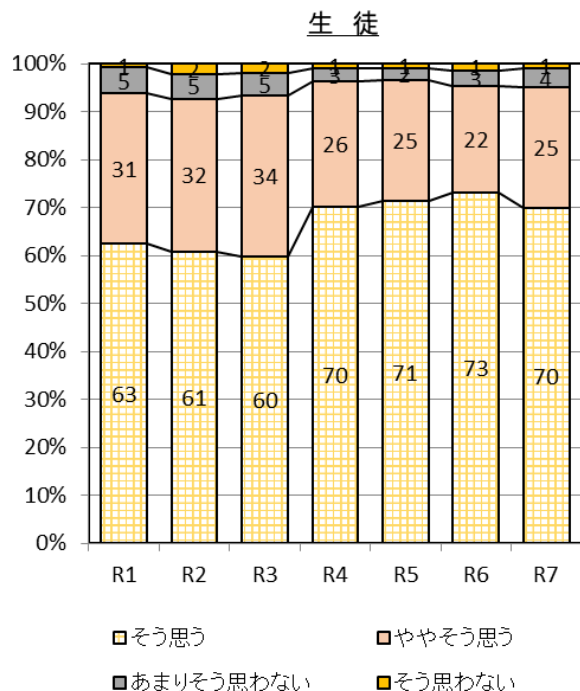


コメント

規範意識は、社会の中で自他共に幸福に生きるための基礎力です。生徒が「なぜこのきまりが必要か」を納得し、自律的に行動できるよう丁寧な指導を継続します。安心・安全で秩序ある学校づくりに向けて、保護者の皆様と強力しながら心の育成に取り組んでまいります。

6行事について

- ・【生徒】あなたは、学校行事にしっかりと取り組みましたか。
- ・【保護者】生徒が学校行事等に熱心に取り組んでいて、活気ある学校である。
- ・【教職員】生徒は、学校行事にしっかりと取り組んだと思いますか。

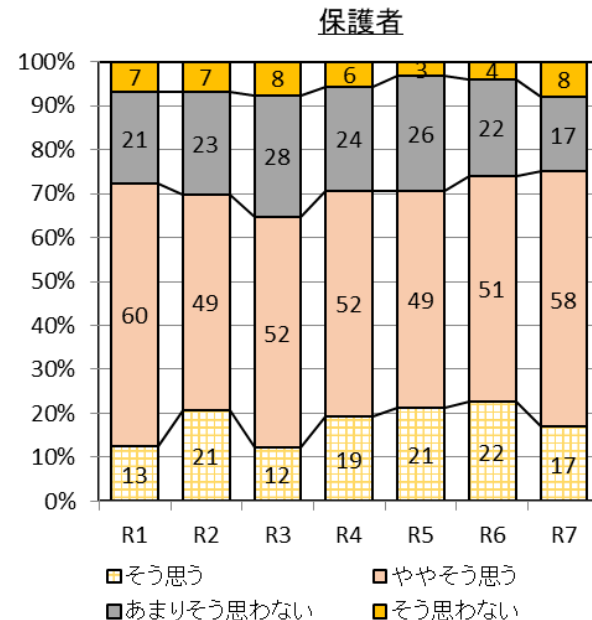
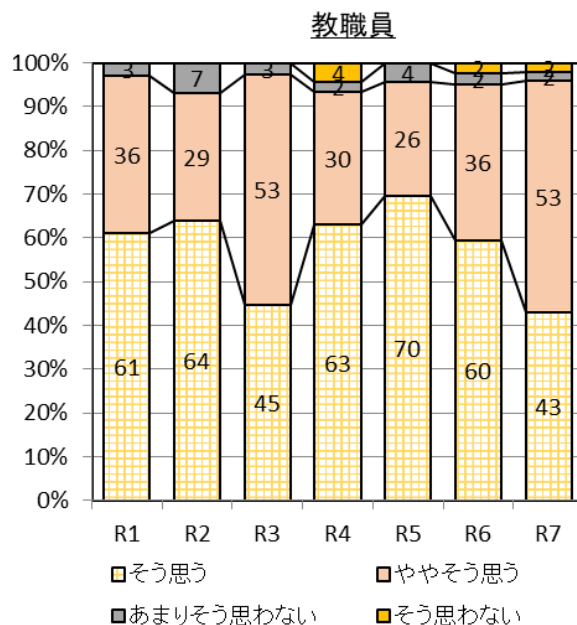
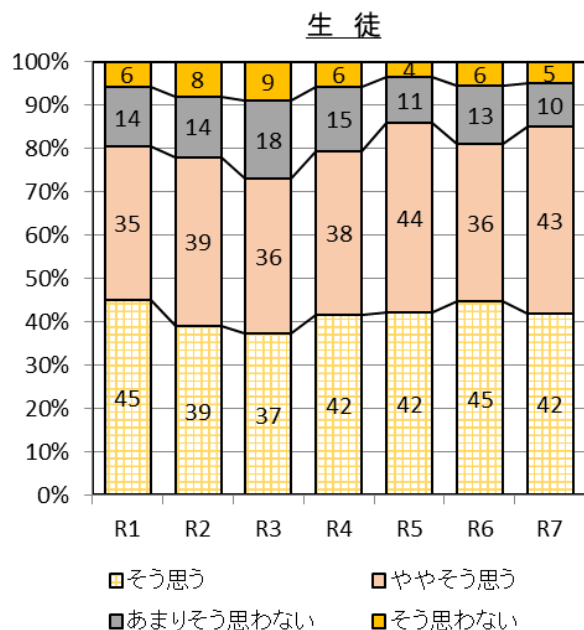


コメント

行事での感動体験は、生徒を大きく成長させます。今後はさらに「生徒主体の行事」へとシフトし、達成感や連帯感を自己成長の糧にできるような、創造性に溢れた学校行事を創造してまいります。

7 悩み相談について

- ・【生徒】 学校には、悩み事などの相談をきちんと受け止めてくれる先生や場所がありますか。
- ・【保護者】 学校は生徒一人一人の思いを大切にして教育活動を推進している。
- ・【教職員】 あなたは、生徒とともに学び、話を聞き、長所を褒めたり注意をしたりして、積極的に関わっていますか。

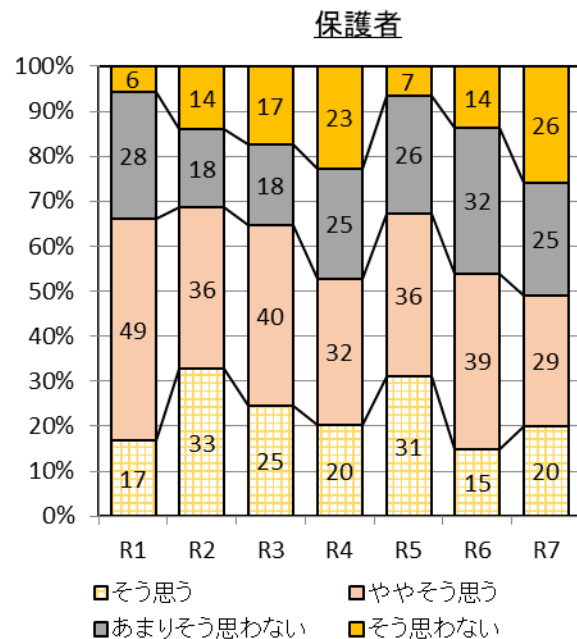
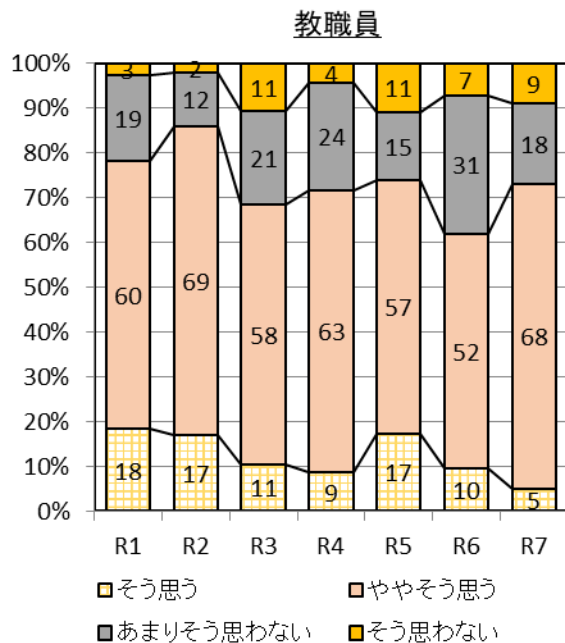
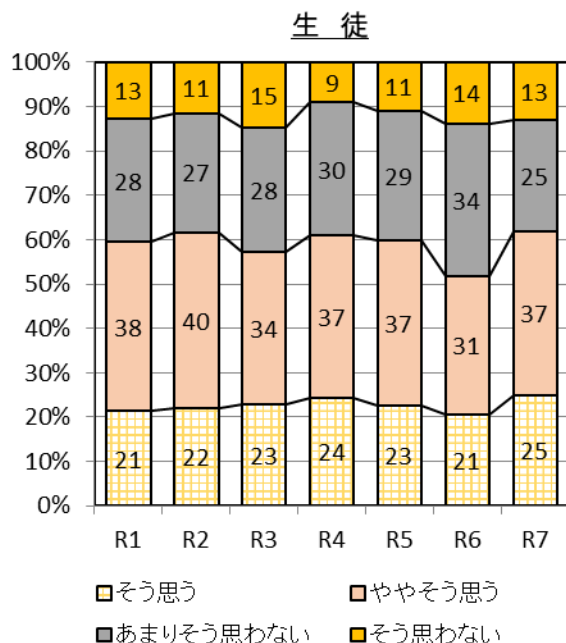


コメント

生徒の心の安定が、全ての教育活動の基盤です。「誰もが誰かに支えられている」と実感できる体制づくりを最優先しています。教育相談週間の充実はもちろん、教職員の感度を高め、生徒の小さな変化やSOSを逃さない「チーム学校」としての教育相談体制を深化させ、家庭との連携をより密にしていります。

8 宿題について

- ・【生徒】あなたは、宿題だけでなく、進んで授業を予習・復習をしていますか。
- ・【保護者】家では、以前に比べて自ら机に向かって学習している時間が多くなってきている。
- ・【教職員】あなたが与えた家庭での学習課題について、生徒はそれを確実にこなしていると思いますか。

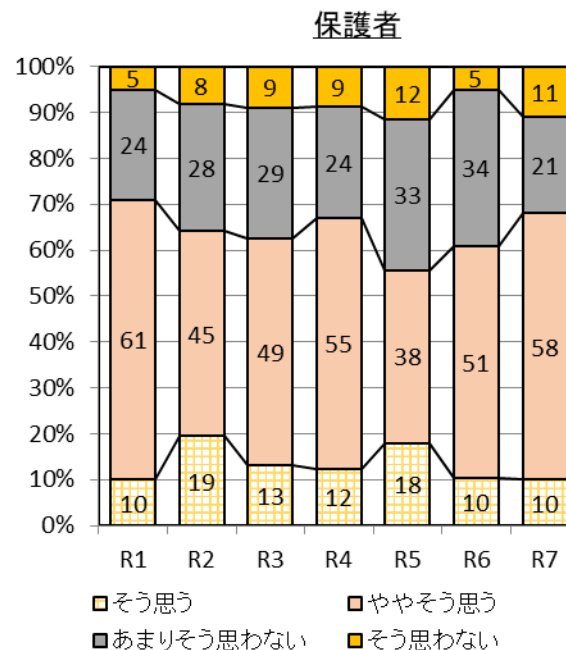
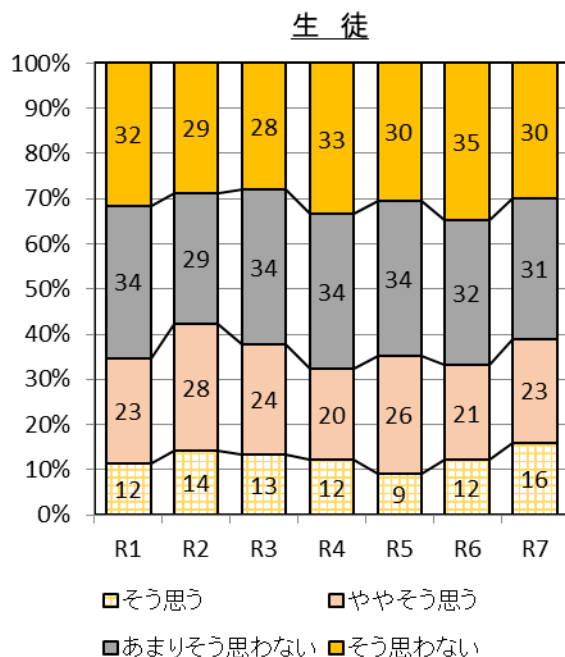


コメント

「自ら学ぶ力」の育成は、本校の喫緊の課題です。単に課題をこなすだけでなく、自分の弱点を知り、自律的に学習をコントロールする習慣を養います。ICTを活用した個別最適な学びの提供や、授業と家庭学習の連動性を高める工夫により、生徒が学ぶ喜びを実感し、自ら机に向かう意欲を育むための手立てを講じてまいります。

9 地域について

- ・【生徒】地域の行事に参加していますか。
- ・【保護者】学校は、教育活動を分かりやすく発信し、地域に根ざした学校づくりを進めている。



コメント

学校は地域と共にあり、地域は学校の最高の教室です。ホームページ等での積極的な情報発信は、信頼の架け橋になると確信しています。更新頻度の向上に留まらず、本校の教育活動や生徒の輝く姿をより鮮明に、よりタイムリーにお届けすることで、地域に愛され、地域と共に歩む「開かれた学校づくり」を加速させてまいります。